

瑞穂鯨城会ウォーキングクラブ 4月定例会

新型コロナウイルスの影響下の山崎川史跡巡り

実施日 2020.4.16



正及神社でお参り



菖山橋近くのハナズオウ

連日のマスコミによる新型コロナウイルスの情報により、自宅待機を強いられる状態は、健康な高齢者にもかなりの精神的な負担になり鬱状態になります。

皆さん、リスク回避を考え何時もに比べ、参加が少なく17名でした。

パロマ瑞穂スタジアム正面のベンチに集合し、点呼と年会費の支払いを済ませてから三々五々に分かれてスタートする事になりました。

感染症から身を守りウォーキングをするために「密閉」「密集」「密接」を避けるために、リーダーの提案で集合時間に関係なく、ある程度まとまり次第勝手にスタートすることになりました。

自ずと気の合うグループが自然発生的にまとまり各自めいめいに瑞穂グラウンドを後にして白雲橋に向かいます。

勝手知った、ご近所街歩き安全安心のウォーキングを気軽に楽しむことができました。

先週が見頃であった山崎川の桜は既に葉桜になり、近隣の方の通常の散歩道に戻っていました。何時もの歩きなれた山崎川散策はお花見頃と違い、今は保育園の幼児や、地元高齢者の散歩や、ベンチや親水階段で休息する方など、ゆったりとした時間が流れていました。

カワセミを狙う大きな望遠カメラを構えたマニアックな方などもお見かけしました。

また、テレワークのサラリーマンの気分転換に、肩にお子さんを載せた方などほほえましい姿もありました。川に沿ってオオムラサキツツジ・ユキヤナギ・ハナズオウなどの花を見ながら、新緑の桜並木を白雲橋まで進み、そこでUターンして東山荘に向かいます。東山荘も県レベルの緊急事態宣言により休館のため外周を回り、かつてのオリエンタル中村のオーナーの黒堀と土蔵の豪邸を外から眺め、徳川家康を祀る日光東照宮から分霊し勧請した正及神社に寄りました。

その南隣は暮雨巷(ぼうこう)会館はUFG銀行の迎賓館で、重厚感のある石造りの建物と練堀を眺めながら、田辺通りの交差点を渡り、山崎川に復帰しました。その後、師直公の琵琶が峰の石碑や、年魚道(あゆち)の水の古井戸・石碑を見てスタート地点の瑞穂運動場に戻りました。



瑞穂運動公園でゆったりランチタイム

陽気も良く新緑の瑞穂公園で有志の方はお弁当を美味しくいただき、6.5kmを周回し、12:30にゴールの連絡をLINEで知りました。

因みに小生は本願寺の我が家に11:30にゴール、スマホの歩数計で家まで12,000歩・8.3kmでした。

(記:31期 宮田 岩男)